取扱説明書

シネマ 3D モニター

機器を使用する前に本マニュアルを十分にお読みください。また、以後も参照できるよう保管してください。

シネマ 3D モニターモデル

D2242P
D2342P
D2542P

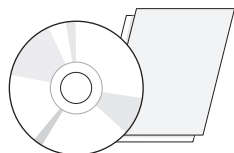
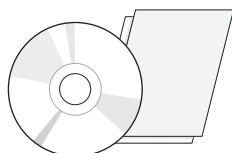
www.lg.com

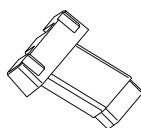
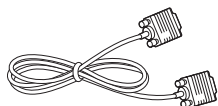
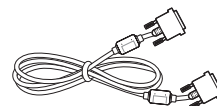
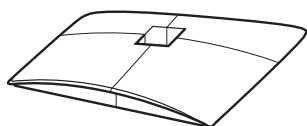
目次

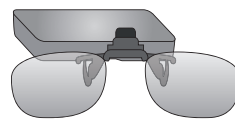
日本語

組み立てと準備

同梱品

箱の中身を確認してください。付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。実際の製品および付属品の外見は、この図とは異なることがあります。

CD(取扱説明書)/ カード

TriDef 3D ソフトウェア プログラム CD/ クイック インストール ガイド

電源コード

スタンド本体

D-SUB ケーブル

DVI-D ケーブル

スタンド基部

3D メガネ(標準タイプ)

3D メガネ(クリップオン タイプ)

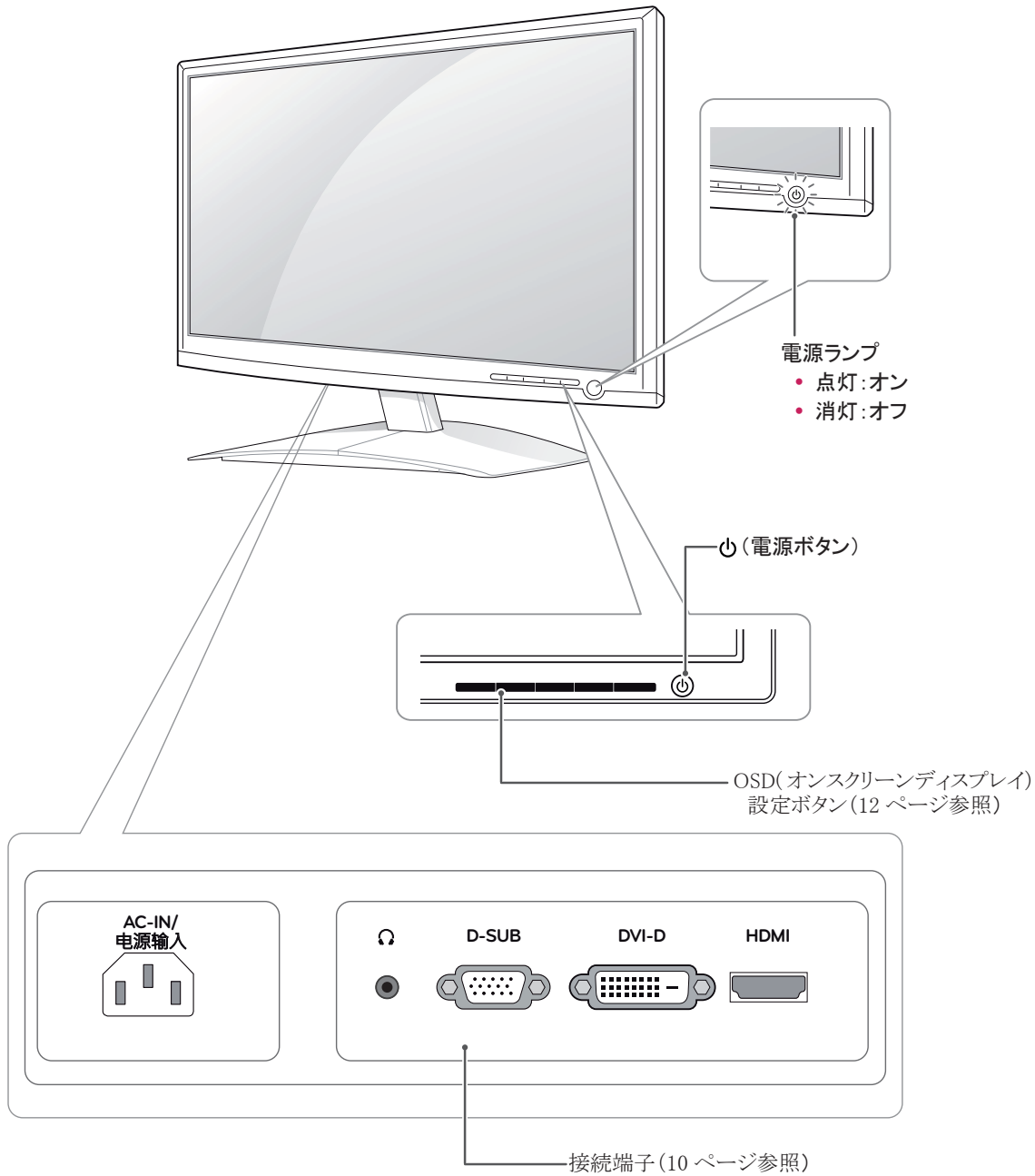
注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象にはなりません。

メモ

- 製品の付属品はモデルによって、異なります。
- 製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。
- 製品の標準準拠を維持するため、フェライト コア付きのシールドされた信号インターフェイス ケーブル(RGB ケーブル /DVI-D ケーブル)を使用してください。

部品名およびボタン

電源ランプ
• 点灯：オン
• 消灯：オフ
(電源ボタン)
OSD(オンスクリーンディスプレイ)
設定ボタン(12 ページ参照)
AC-IN/
电源输入
D-SUB
DVI-D
HDMI
接続端子(10 ページ参照)

ボタン	説明	
MENU（メニュー）	**メイン メニュー**（13 ページ参照）**にアクセスします。**	
	OSD LOCKED/ UNLOCKED（OSD ロック / ロック解除）	この機能を使用すると、現在のコントロール設定をロックし、誤って変更されないようにすることができます。 MENU（メニュー）ボタンを数秒間押し続けます。 「OSD LOCKED（OSD ロック）」というメッセージが表示されます。 MENU（メニュー）ボタンを数秒間押し続けることで、いつでも OSD コントロールのロックを解除できます。「OSD UNLOCKED（OSD ロック解除）」というメッセージが表示されます。
	SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）ボタン	このボタンを使用して、[SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）] メニューを入力します（15 ページ参照）。
3D	3D 表示設定（14 ページ参照）	
AUTO（自動）	表示設定を調整するときは常に [MONITOR SETUP(モニター セットアップ)]OSD の [AUTO(自動)] ボタンを押します （アナログ モードでのみサポート）。	
	最適な表示モード	1920 x 1080
VOLUME（ボリューム）（HDMI モードのみ）	モニターのボリュームを調整します（15 ページ参照）。	
INPUT（入力）	入力信号を選択できます。 • 複数の入力信号が接続されている場合、使用する入力信号（D-SUB/DVI/HDMI）を選択できます。 • 接続されている信号が 1 つしかない場合は、自動的に検出されます。デフォルト設定は D-SUB です。	
EXIT（終了）	OSD（オン スクリーン ディスプレイ）を終了します。	
⏻（電源ボタン）	電源のオン / オフを切り替えます。	
	電源ランプ	ディスプレイが正常に動作している場合、電源ランプは青く点灯しています（オン モード）。ディスプレイがスリープ モードの場合、電源ランプは青く点滅します。

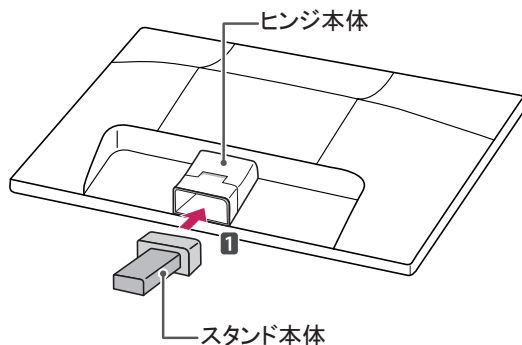
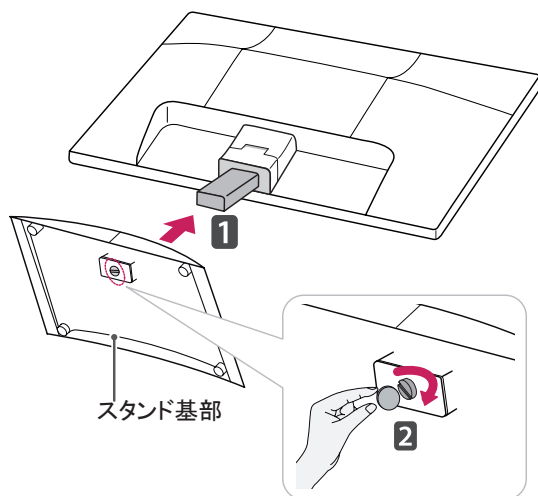
モニター セットの組み立て

スタンド基部の取り付け

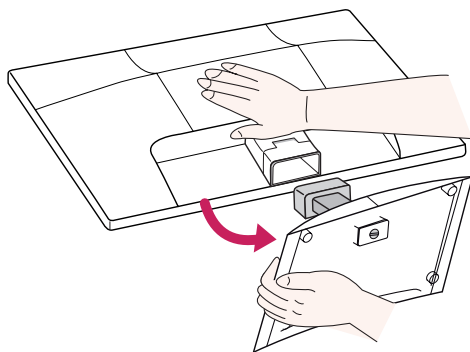
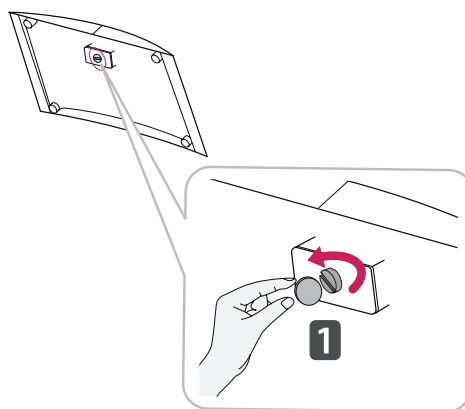
1 モニターの画面側を下にして、クッション性のある平面に置きます。

 注意

画面に傷が付かないように、モニターを置く前にフォーム マットや柔らかい保護布を敷いてください。

2 図に示す正しい向きで**スタンド本体**を製品に取り付けます。 カチッと音がするまで押し込んでください。

3 **スタンド基部**を取り付け、硬貨などでネジを右に回して締め付けます。

スタンド基部のスタンド本体からの取り外し

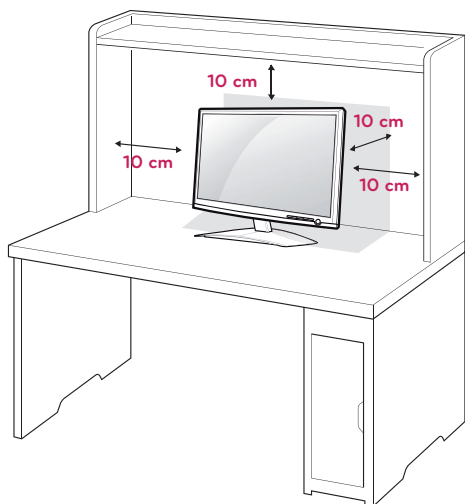
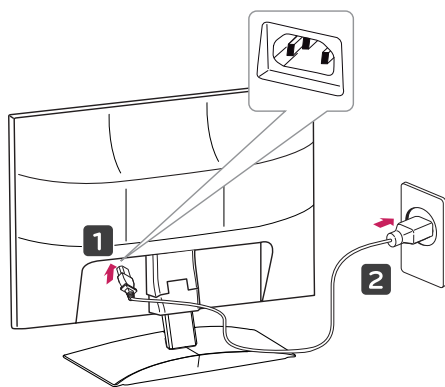
1 モニターの画面側を下にして、クッション性のある平面に置きます。

2 モニタ セットから**スタンド基部**および**スタンド本体**を引き抜きます。

3 **硬貨**でネジを左に回し、**スタンド基部**を**スタンド本体**から引き出します。

注意

- この図は接続の一般的な例を示しています。モニターの外見が図のものとは異なる場合があります。
- 製品を上下逆さにしてスタンド基部のみをつかんで持ち運ばないでください。製品が落下して、壊れたり足に怪我を負ったりする可能性があります。

テーブルへの設置

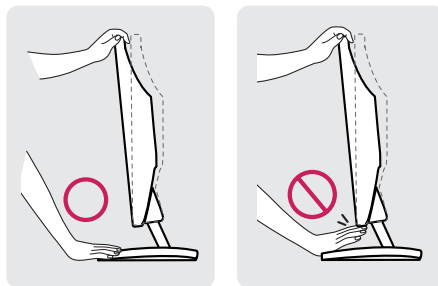
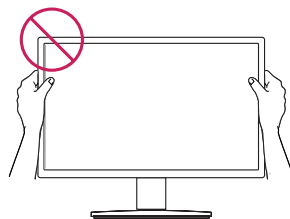
1 モニター セットを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。

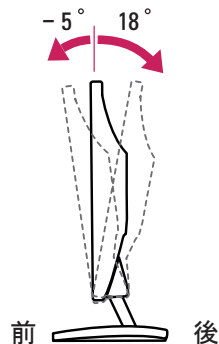
適切な通気性を確保するため、背後の壁面から少なくとも 10 cm の隙間を空けます。

2 電源コードをコンセントに接続します。

3 前面のスイッチ パネルの⏻(電源)ボタンを押して、電源を入れます。

注意

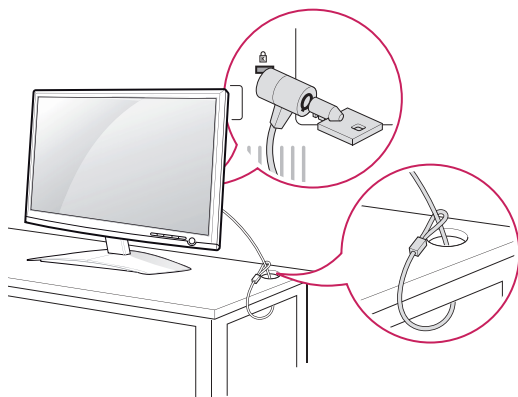
モニターを別の場所に移動する前に電源コードを抜いてください。そうしなければ、感電するおそれがあります。

警告

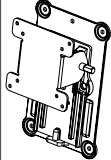
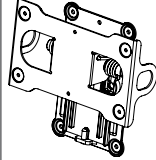
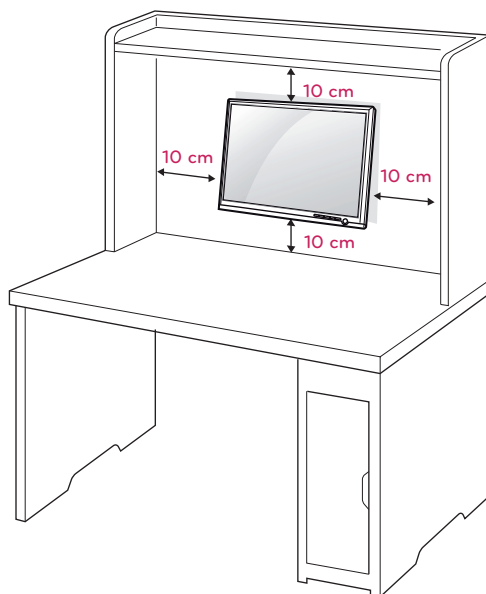
角度を調整するときに、図のようにモニターフレームの下側をつかまないでください。指をはさむ可能性があります。

モニターの傾きを調整するときに、画面に触れたり押したりしないでください。

メモ

画面が見やすいように上下に -5° ~ +18° の範囲で傾きを調整します。

Kensington セキュリティ システムの使用

Kensington セキュリティ システム コネクタは、モニターの背面にあります。 取り付けと使い方にの詳細については、Kensington セキュリティ システム付属のマニュアルを参照するか、*http://www.kensington.com* にアクセスしてください。

Kensington セキュリティ システム ケーブルを接続し、モニターをテーブルに固定します。

メモ

Kensington セキュリティ システムはオプションです。主要な販売店で購入できます。

壁への取り付け

適切な通気性を確保するため、左右の側面および背面の壁から少なくとも 10 cm の空間を空けてください。詳細な設置マニュアルは販売店から入手できます。オプションの『Tilt Wall Mounting Bracket Installation and Setup Guide（チルト壁掛けブラケット設置ガイド）』を参照してください。.

モニターを壁に取り付ける場合、モニターの背面で壁掛けアームを取り付けます。（選択可）
壁掛けブラケット（別売り）を使用してモニターを設置する場合は、落とさないよう注意して取り付けてください。

1 壁掛けアームを取り付ける際、VESA 規格のネジとマウントインタフェースを使用してください。

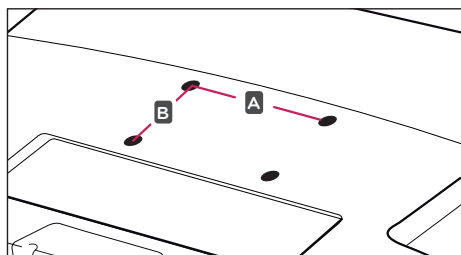
2 ネジは標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷される恐れがあります。

3 非標準のネジを使用し、製品が損傷及び落下する場合、LG は一切の責任を負いません。

4 VESA 規格をサポートします。

5 下記の VESA 規格に従ってください。

- 784.8 mm（30.9 インチ）以下
  * 壁掛けパッドの板厚：2.6 mm
  * ネジ：Φ 4.0 mm x ピッチ 0.7 mm x 長さ 10 mm
- 787.4 mm（31 インチ）以上
  * VESA 規格の壁掛けパッドとネジを使用してください。

モデル	D2242P D2342P	D2542P
VESA（A x B）	75 x 75	200 x 100
標準ネジ	M4	M4
ネジの本数	4	4
壁掛けブラケット（オプション部品）	RW120	RW240

注意

- 先に電源コードを抜いてから、モニター移動または設置します。電源コードを抜かないと、感電するおそれがあります。
- モニターを天井または傾きのある壁面に取り付けると、モニターが落下し重大なけがをする可能性があります。
- 正規の LG 製壁掛けのみを使用し、販売店または適格な業者に連絡してください。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。モニターが損傷し、保証が無効になる可能性があります。
- VESA 規格に適合するネジおよび壁掛けのみを使用してください。使用方法の誤りまたは不適切なアクセサリが原因の破損やけがは、保証の対象にはなりません。

メモ

- VESA 規格の仕様に適合するネジを使用してください。
- 壁掛け用キットには、設置マニュアルと必要な部品が含まれています。
- 壁掛けブラケットはオプション品です。追加の付属品に関しましては、販売店でご購入できます。
- ネジの長さは壁掛けによって異なります。適切な長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛けに付属のマニュアルを参照してください。

- VESA (A x B)

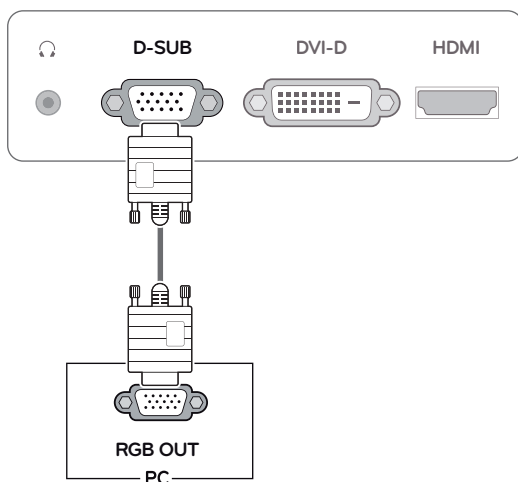
日本語

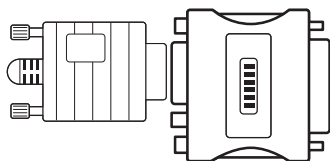
モニターの使用

PC への接続

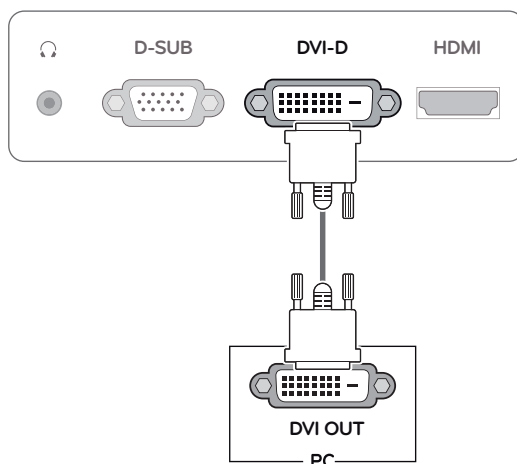
- このモニターはプラグ アンド プレイ＊をサポートしています。
  ＊プラグ アンド プレイ：ユーザーが PC にデバイスを接続して電源を入れると、デバイス設定その他のユーザーの操作なしに、デバイスが PC によって自動的に認識される機能。

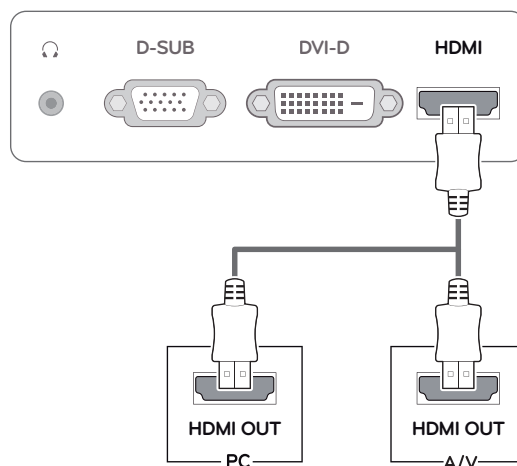
D-SUB 接続

PC からモニターにアナログ映像が 伝送されます。次の図に従って PC とモニターを 付属の D-sub 15 ピン信号ケーブルで接続します。

メモ

- Macintosh 用の D-Sub 信号入力ケーブルを使用する場合

- Mac アダプタ
- Apple Macintosh を使用している場合、付属ケーブルの 15 ピン高密度（3 列）D-SUB VGA コネクタを 15 ピン 2 列コネクタに変換するプラグ アダプタが必要になります。

DVI-D 接続

PC からモニターにデジタル映像信号を伝送します。次の図に従って、PC とモニターを DVI ケーブルで 接続します。

HDMI 接続

PC または A/V 機器からモニターに デジタル映像および音声信号が伝送されます。次の図に従って PC または A/V 機器とモニターを HDMI ケーブルで接続します。

メモ

- HDMI PC を使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。

注意

- 信号入力ケーブルを接続し、ネジを時計回りに回して締め付けます。
- 画面を指で長い時間押し続けないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。なるべくスクリーン セーバーを使用してください。

メモ

- 1 台のモニターで 2 台の PC を使用する場合は、各 PC に対応する信号ケーブル(D-SUB/DVI-D/HDMI)をモニターに接続してください。
- モニターセットが冷えている状態で電源を入れると画面がちらつくことがあります。これは正常です。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがあります。これは正常です。

Self Image Setting(自動映像設定)機能

フロント パネルの電源ボタンを押して、電源を入れます。モニターの電源が入ると、「Self Image Setting(自動映像設定)」機能が自動的に実行されます (アナログ モードでのみサポート)。

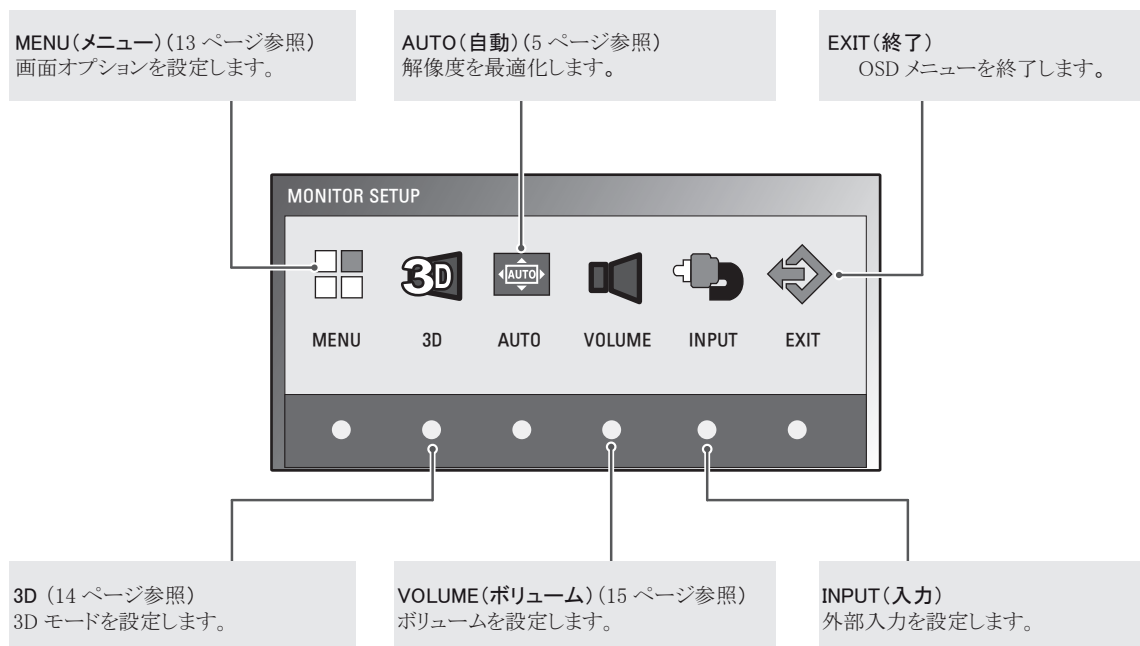
メモ

- 「Self Image Setting(自動映像設定)」機能
  この機能によって最適な表示設定が行われます。ユーザーがモニターを初めて接続すると、この機能により、入力信号に合わせて設定が自動的に最適化されます(アナログ モードでのみサポート)。
- AUTO(自動)機能
  デバイス使用中あるいは画面解像度の変更後に、画面のぼやけ、ちらつき、傾きなどの問題が発生した場合、AUTO(自動)機能ボタンを押すと解像度が最適化されます(アナログ モードでのみサポート)。

日本語

設定の方法

メイン メニューへのアクセス

1 モニター前面の任意のボタンを押すと、[MONITOR SETUP(モニターセットアップ)]OSD メニューが表示されます。
2 目的のメニュー項目を押します。
3 メニュー項目の値を変更します。
上位のメニューに戻る、または別のメニュー項目を設定するには、上矢印( )ボタンを使用します。
4 [EXIT(終了)] を選択すると OSD メニューを終了します。

メモ

有効になるメニュー項目は入力信号の種類によって異なります。
- D-SUB/DVI モード:MENU(メニュー)、3D、AUTO(自動)、INPUT(入力)、EXIT(終了)
- HDMI モード:MENU(メニュー)、3D、VOLUME(ボリューム)、INPUT(入力)、EXIT(終了)

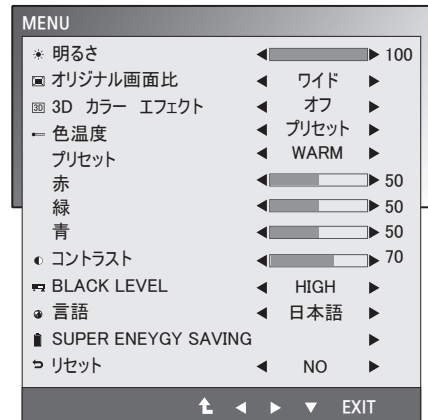
設定のカスタマイズ

メニュー設定

1 モニター前面の任意のボタンを押すと、[**MONITOR SETUP（モニターセットアップ）**]OSD メニューが表示されます。

2 [**MEMU（メニュー）**] ボタンを押して OSD メニューのオプションを表示します。

3 ボタンを押してオプションを設定します。

4 [**EXIT（終了）**] を選択すると OSD メニューを終了します。
上位のメニューに戻る、または別のメニュー項目を設定するには、上矢印（**⮉**）ボタンを使用します。

使用可能なプログラム設定は次のとおりです。

メニュー	アナログ	デジタル	HDMI	説明
明るさ	●	●	●	画面の明るさを調整します。
オリジナル画面比	●	●	●	**ワイド** 入力映像信号に従って、フルスクリーン モードに切り替えます。 **オリジナル** 入力映像信号を元の縦横比に変更します。 * この機能は入力解像度がアスペクト比 16:9 より低い場合のみ有効です。
3D カラー エフェクト	●	●	●	3D モードの際の画質を最適化します。 • オペレーティング システムやビデオ カードによっては、手動でオンにする必要があります。
色温度	●	●	●	**プリセット** 画面の色を選択します。 • **WARM（暖色）**：画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。 • **MEDIUM（中間）**：画面の色温度を中間に設定します。 • **COOL（寒色）**：画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。 **USER（ユーザー）** • **赤**：赤のレベルを手動で設定します。 • **緑**：緑のレベルを手動で設定します。 • **青**：青のレベルを手動で設定します。
コントラスト	●	●	●	画面のコントラストを調整します。
BLACK LEVEL（黒レベル） （HDMI モードでのみサポート）			●	オフセット レベルを設定できます。[HIGH（高）] を選択すると画面が明るくなり、[LOW（低）] を選択すると画面が暗くなります。 • オフセット：映像信号の基準として使用される、モニターが表示できる最も暗い画面です。
言語	●	●	●	メニューの言語を変更します。
SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）	●	●	●	SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）機能を設定します。
リセット	●	●	●	モニターを工場出荷時の設定に戻します。

- **アナログ**：D-SUB（アナログ信号）入力
- **デジタル**：DVI-D（デジタル信号）入力
- **HDMI**：HDMI（デジタル信号）入力

TriDef 3Dのインストール前に必ずご確認ください

- TriDef 3Dプログラムをインストールする前に、LG 3DモニタをPCに接続し、PCを再起動してください。
- 複数のモニタをお使いの場合や、モニタをノートパソコンに接続する場合は、LG 3Dモニタをデフォルトに設定して解像度を1920x1080に変更し、3D機能を有効にしてください。
- TriDefムービー ファイルをWindows XP上で視聴するには、Windows XP用のWindows Media Player 11をインストールする必要があります。

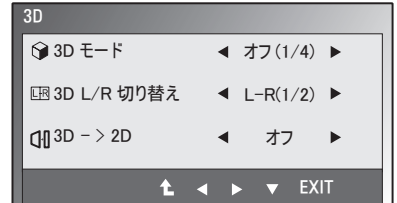
3D 設定（3D モードのみ）

* 3D オプションの OSD は HDMI ビデオ タイミングでのみ有効です。

1 モニターの前面の任意のボタンを押すと、[MONITOR SETUP（モニターセットアップ）]OSD メニューが表示されます。

2 [3D] ボタンを押して、OSD メニューにオプションを表示します。

3 ボタンを押してオプションを設定します。

4 [EXIT（終了）] を選択すると OSD メニューを終了します。
上位のメニューに戻る、または別のメニュー項目を設定するには、上矢印（⮉）ボタンを使用します。

使用可能な 3D 設定は次のとおりです。

メニュー	説明	
3D モード	3D 映像データの形式を選択します（HDMI VIDEO TIMING（HDMI ビデオ タイミング）でのみ有効）。	
	サイド バイ サイド	左右の映像をサイド バイ サイド レイアウトで配置します。
	トップ アンド ボトム	左右の映像をトップ アンド ボトム レイアウトで配置します。
	インターレース	左右の映像をライン単位で配置します。
	オフ	3D モードをオフにします。
3D L/R 切り替え	左右の眼に表示されるフレームを変更します。	
	R-L	奇数ラインが右眼用の画像、偶数ラインが左眼用の画像になります。
	L-R	奇数ラインが左眼用の画像、偶数ラインが右眼用の画像になります。
3D - > 2D	3D 映像を 2D に変換します。（HDMI VIDEO TIMING（HDMI ビデオ タイミング）でのみ有効）。	
	オフ	映像を 3D で表示します。
	オン	映像を 2D で表示します。

メモ

- 3D モード

サイド バイ サイド	トップ アンド ボトム	インターレース

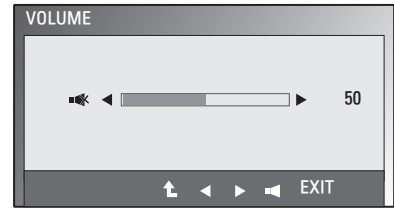
- 選択した 3D オプションが不適切な場合、映像が正しく表示されないことがあります。

ボリューム設定（HDMI でのみサポート）

1 モニタ セットの前面の任意のボタンを押すと、[MONITOR SETUP（モニタ セットアップ）]OSD メニューが表示されます。

2 [VOLUME（ボリューム）] ボタンを押して、OSD メニューにオプションを表示します。

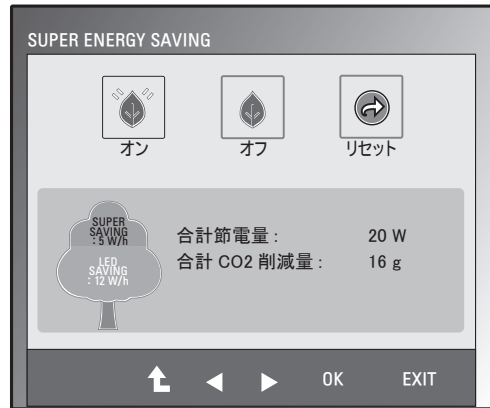
3 モニタ セット前面のボタンを押してオプションを設定します。

4 [EXIT（終了）] を選択すると OSD メニューを終了します。
上位のメニューに戻る、または別のメニュー項目を設定するには、上矢印（⮉）ボタンを使用します。

SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）設定

1 モニターの前面の任意のボタンを押すと、[MONITOR SETUP(モニターセットアップ)]OSD メニューが表示されます。

2 [MEMU（メニュー）] ボタンを押して OSD メニューのオプションを表示します。

3 ボタンを押して、[SUPER ENERGY SAVING（スーパー エネジー セービング）] を選択し、オプションを設定します。

4 [EXIT（終了）] を選択すると OSD メニューを終了します。
上位のメニューに戻る、または別のメニュー項目を設定するには、上矢印（⮉）ボタンを使用します。

使用可能な映像の SUPER ENERGY SAVING の設定は次のとおりです。

メニュー	説明
オン	SUPER ENERGY SAVING（スーパー エネジー セービング）を有効にして、電力を節約します。
オフ	SUPER ENERGY SAVING（スーパー エネジー セービング）を無効にします。
リセット	合計節電量および合計 CO2 削減量の値をリセットします。

メモ

- **合計節電量**：モニターの使用中に節約できた電力です。
- **合計 CO2 削減量**：合計節電量を CO2 に換算した値です。
- SAVING DATA（節電データ）（W/h）

	546 mm（22 インチ）	584 mm（23 インチ）	634 mm（25 インチ）
SUPER SAVING（スーパー セービング）	4 W/h	5 W/h	5 W/h
LED SAVING（LED 節電量）	15 W/h	12 W/h	12 W/h

- 節電量はパネルにの種類によって異なります。したがって、これらの値はパネルメーカーごとに異なります。
- LG では、これらの値を「broadcast video signal（放送映像信号）」を使用して計算しています。
- [LED SAVING(LED 節電量)]は、CCFL パネルではなく LED パネルを使用することで節約できた電力を表します。
- [SUPER SAVING（スーパー セービング）] は、[SUPER ENERGY SAVING（スーパー エナジー セービング）] 機能により節約できた電力を確認することが出来ます。

日本語

トラブルシューティング

お問い合わせの前に、次の点を確認してください。

映像が表示されない	
ディスプレイの電源コードは接続されていますか？	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかどうかを確認します。
電源ランプが点灯していますか？	• 電源ボタンを押します。
電源が入っていて電源ランプが青または緑色に点灯していますか？	• 明るさとコントラストを調整します。
電源ランプが点滅していますか？	• ディスプレイが節電モードに入っている場合、マウスを動かすか、キーボードのキーを押して、画面が表示されないか試してください。 • PC の電源が入っているか確認してください。
画面に「OUT OF RANGE（範囲超過）」メッセージが表示されていますか？	• このメッセージは、PC（ビデオ カード）からの信号が、ディスプレイの水平または垂直周波数範囲を超えている場合に表示されます。この取扱説明書の「仕様」セクションを参照して、ディスプレイの設定をやり直してください。
画面に「CHECK SIGNAL CABLE（信号ケーブル確認）」メッセージが表示されていますか？	• このメッセージは、PC とディスプレイの間の信号ケーブルが接続されていない場合に表示されます。信号ケーブルを確認してから、もう一度試してください。

画面に「OSD LOCKED（OSD ロック）」メッセージが表示されますか？	
MENU（メニュー）ボタンを押したときに「OSD LOCKED（OSD ロック）」と表示されますか？	• 現在のコントロール設定をロックし、誤って変更されないようにすることができます。MENU（メニュー）ボタンを数秒間押し続けることで、いつでも OSD コントロールのロックを解除できます。「OSD UNLOCKED（OSD ロック解除）」メッセージが表示されます。

表示映像が正しくない	
表示位置が正しくありません。	• AUTO（自動）ボタンを押すと、表示映像が自動的に最適な設定に調整されます。
画面背景に縦の棒またはストライプが表示されます。	• AUTO（自動）ボタンを押すと、表示映像が自動的に最適な設定に調整されます。
映像に横向きのノイズが入ります。または文字がはっきりと表示されません。	• AUTO（自動）ボタンを押すと、表示映像が自動的に最適な設定に調整されます。 • [コントロール パネル] ▸ [画面] ▸ [設定] を確認し、ディスプレイを推奨解像度に設定するか、表示映像を最適な設定に調整します。色の設定を 24 ビット（True Color）より高く設定します。

注意

- [コントロール パネル] ▸ [画面] ▸ [設定] を確認し、周波数または解像度が変更されていないかどうかを確認します。 変更されている場合は、ビデオ カードを推奨解像度に再設定します。
- 推奨解像度(最適な解像度)が選択されていない場合、文字の表示がぼやけ、画面がかすれたり、端が切れたり、偏ったりすることがあります。 推奨解像度を選択してください。
- 設定方法はコンピュータや OS(オペレーティング システム)によって異なります。また、ビデオ カードの性能がこの推奨解像度に対応していないことがあります。 そのような場合は、コンピュータまたはビデオ カードのメーカーにお問い合わせください。

表示映像が正しくない	
画面の色がモノクロまたは異常です。	• 信号ケーブルが正しく設定されているかどうかを確認し、必要に応じてドライバーで締め付けます。 • ビデオ カードがスロットに正しく挿入されていることを確認します。 • [コントロール パネル] ▸ [設定] で色設定を 24 ビット(True Color)より高く設定します。
画面が点滅します。	• 画面がインターレース モードに設定されているかどうかを確認し、設定されている場合は、推奨解像度に変更します。

「モニターが認識されません。プラグ アンド プレイ (VESA DDC) のモニターが見つかりました。」メッセージが表示されますか？	
ディスプレイ ドライバがインストールされていますか？	• ディスプレイ付属のディスプレイ ドライバ CD(またはフロッピー ディスク)に含まれているディスプレイ ドライバがインストールされていることを確認します。ドライバは、弊社 Web サイト(http://www.lg.com)からダウンロードすることもできます。 • ビデオ カードでプラグ アンド プレイ機能がサポートされていることを確認してください。

3D モード使用時のトラブルシューティング

モニターをオフにしたときに、油膜のような渦巻き模様が画面に表示される
• これは LCD 表面と 3D フィルタの間の空気の層で外部光が干渉を起こしているために発生します。 電源を入れ直すとパターンはほとんど見えなくなります。

3D 映像が正しく見えない	
モニター付属のメガネを使用していない場合	• このモニターで 3D 映像を見るには、モニター付属のメガネを使用することが非常に重要です。メガネは、モニターの表面に貼り付けられている 3D フィルタを光学的に補正するためのものです。サードパーティ製のメガネを使用すると、モニターの 3D 映像が正しく見えない場合があります。
最適な角度または距離から 3D 映像を見ていない場合	• 最適な視聴角度は、垂直方向に 12° 、水平方向に 80° です。また、最適な視聴距離はモニターから 50-90 cm です。 最適な視聴角度または距離を外れて 3D 映像を見ると、映像が重なったり、正しく 3D で見えないこともあります。
解像度を設定していない場合	• 表示設定でモニターの解像度を最大(1920 x 1080 @ 60 Hz)に設定してください。解像度が最大に設定されていないと、3D ソフトウェアが正しく動作しない場合があります。
左右の眼に写る映像が反転している場合	• 奇数番目のラインのストライプ映像が右眼に写る映像です。3D 映像ではなくストライプ映像しか見えない場合は、3D ソフトウェアのプレーヤーまたはビューアのオプションを変更して、奇数番目のラインが右眼に写るように映像を設定してください。
3D ではなく 2D 映像のみが見える	• このモニターは 2D モードと 3D モードの両方で動作します。ビデオが 3D で製作されていれば、3D で見ることができます。2D 映像を 3D で表示しようとしても、正しく表示されないか、画質が劣化します。
「TriDef 3D」が正常に動作しなかった場合	• 「TriDef 3D」を実行するための PC の最小システム要件: » Intel® Core 2 Duo または AMD Athlon ™ 64 X2 デュアルコア CPU 以上の CPU » 1 GB RAM » NVIDIA® GeForce® 8600 GT または ATI X1650 XT » 500 MB のディスク空き容量 » Windows® XP(SP2) (32 ビットのみ)、Windows® Vista(32 ビットのみ)、または Windows® 7(32 または 64 ビット) » DirectX 9.0c 互換のサウンド カード » インターネット接続 » DVD-ROM ドライブ » ネットワーク カード » DirectX 9.0c

仕様

D2242P

ディスプレイ	画面タイプ	54.6 cm(21.5 インチ)フラット パネル アクティブ マトリクス -TFT LCD アンチグレア コーティング 表示領域の対角線サイズ:54.6 cm
	ピクセル ピッチ	0.248 mm x 0.248 mm(ピクセル ピッチ)
同期入力	水平周波数	30 kHz - 83 kHz(自動)
	垂直周波数	56 Hz - 75 Hz(D-SUB、DVI-D) 56 Hz - 61 Hz(HDMI)
	入力形式	セパレート同期 デジタル
映像入力	信号入力	15 ピン D-SUB コネクタ /DVI-D コネクタ(デジタル) HDMI コネクタ
	入力形式	RGB アナログ(0.7 Vp-p/75 Ω)、デジタル
解像度	最大	D-SUB(アナログ):1920 x 1080 @ 60 Hz DVI/HDMI(デジタル):1920 x 1080 @ 60 Hz
	推奨	VESA 1920 x 1080 @ 60 Hz
プラグ アンド プレイ	DDC 2B(アナログ、デジタル、HDMI)	
消費電力	オン モード:34 W(標準) スリープ モード ≤ 0.5 W オフ モード ≤ 0.5 W	
電源入力	AC 100 V 〜、50/60 Hz、1.0 A	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド装着時	50.9 cm x 38.8 cm x 16.6 cm
	スタンドなし	50.9 cm x 32.2 cm x 5.8 cm
重量	3.0 kg	
傾き範囲	-5 - 18°	
環境 条件	動作温度 動作湿度	10 °C - 35 °C 10 % - 80 %
	保管温度 保管湿度	-20 °C - 60 °C 5 % - 90 %(結露なし)
スタンド基部	取り付け時( )、取り外し時(O)	
電源コード	壁コンセント タイプ	

上記の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

日本語

仕様

D2342P

ディスプレイ	画面タイプ	58.4 cm(23 インチ)フラット パネル アクティブ マトリクス -TFT LCD アンチグレア コーティング 表示領域の対角線サイズ:58.4 cm
	ピクセル ピッチ	0.265 mm x 0.265 mm(ピクセル ピッチ)
同期入力	水平周波数	30 kHz - 83 kHz(自動)
	垂直周波数	56 Hz - 75 Hz(D-SUB、DVI-D) 56 Hz - 61 Hz(HDMI)
	入力形式	セパレート同期 デジタル
映像入力	信号入力	15 ピン D-SUB コネクタ /DVI-D コネクタ(デジタル) HDMI コネクタ
	入力形式	RGB アナログ(0.7 Vp-p/75 Ω)、デジタル
解像度	最大	D-SUB(アナログ):1920 x 1080 @ 60 Hz DVI/HDMI(デジタル):1920 x 1080 @ 60 Hz
	推奨	VESA 1920 x 1080 @ 60 Hz
プラグ アンド プレイ	DDC 2B(アナログ、デジタル、HDMI)	
消費電力	オン モード:39 W(標準) スリープ モード ≤ 0.5 W オフ モード ≤ 0.5 W	
電源入力	AC 100 V 〜、50/60 Hz、1.0 A	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド装着時	54.6 cm x 40.7 cm x 17.9 cm
	スタンドなし	54.6 cm x 34.2 cm x 5.7 cm
重量	3.5 kg	
傾き範囲	-5 - 18°	
環境 条件	動作温度 動作湿度	10 °C - 35 °C 10 % - 80 %
	保管温度 保管湿度	-20 °C - 60 °C 5 % - 90 %(結露なし)
スタンド基部	取り付け時( )、取り外し時(O)	
電源コード	壁コンセント タイプ	

上記の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

仕様

D2542P

ディスプレイ	画面タイプ	63.4 cm (25 インチ) フラット パネル アクティブ マトリクス -TFT LCD アンチグレア コーティング 表示領域の対角線サイズ: 63.4 cm
	ピクセル ピッチ	0.288 mm x 0.288 mm (ピクセル ピッチ)
同期入力	水平周波数	30 kHz - 83 kHz (自動)
	垂直周波数	56 Hz - 75 Hz (D-SUB、DVI-D) 56 Hz - 61 Hz (HDMI)
	入力形式	セパレート同期 デジタル
映像入力	信号入力	15 ピン D-SUB コネクタ /DVI-D コネクタ (デジタル) HDMI コネクタ
	入力形式	RGB アナログ (0.7 Vp-p/75 Ω)、デジタル
解像度	最大	D-SUB (アナログ) : 1920 x 1080 @ 60 Hz DVI/HDMI (デジタル) : 1920 x 1080 @ 60 Hz
	推奨	VESA 1920 x 1080 @ 60 Hz
プラグ アンド プレイ	DDC 2B (アナログ、デジタル、HDMI)	
消費電力	オン モード: 39 W (標準) スリープ モード ≤ 0.5 W オフ モード ≤ 0.5 W	
電源入力	AC 100 V 〜、50/60 Hz、1.2 A	
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド装着時	59.4 cm x 43.3 cm x 17.9 cm
	スタンドなし	59.4 cm x 37.1 cm x 6.1 cm
重量	4.4 kg	
傾き範囲	-5 - 18°	
環境 条件	動作温度 動作湿度	10 °C - 35 °C 10 % - 80 %
	保管温度 保管湿度	-20 °C - 60 °C 5 % - 90 % (結露なし)
スタンド基部	取り付け時 ( )、取り外し時 (O)	
電源コード	壁コンセント タイプ	

上記の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

プリセット モード(解像度)

表示モード(解像度)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	極性(H/V)	
720 x 400	31.468	70	-/+	
640 x 480	31.469	60	-/-	
640 x 480	37.500	75	-/-	
800 x 600	37.879	60	+/+	
800 x 600	46.875	75	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1024 x 768	60.123	75	+/+	
1152 x 864	67.500	75	+/+	
1280 x 1024	63.981	60	+/+	
1680 x 1050	65.290	60	-/+	
1920 x 1080	67.500	60	+/+	推奨モード

HDMI 3D タイミング

3D 形式	解像度	リフレッシュ レート	制限
フレーム パッキング	1080 p	24 Hz	
フレーム パッキング	720 p	50/60 Hz	
サイド バイ サイド(ハーフ)	1080 p	50/60 Hz	
サイド バイ サイド(ハーフ)	1080 i	50/60 Hz	
サイド バイ サイド(ハーフ)	720 p	50/60 Hz	
トップ アンド ボトム	1080 p	50/60 Hz	
トップ アンド ボトム	1080 p	24 Hz	
トップ アンド ボトム	720 p	50/60 Hz	

電源ランプ

モード	LED の色
オン モード	青
スリープ モード	青点滅
オフ モード	オフ

安全上のご注意

3D映像をご覧になる際の注意

警告

近すぎる距離で3D映像を見ると、視力が低下することがあります。

3D映像を長時間見続けると、目眩やかすみ目を感じることがあります。

妊娠中の女性、ご年配の方、心臓に疾患を抱えている方、強い吐き気を感じる方、酒気を帯びている方は、3D映像の視聴を控えることをお勧めします。

これは、3D映像により見当識障害や錯乱が発生する可能性があるためです。

壊れやすいもののそばで3D映像を見ないでください。

3D映像を実際の出来事であるかのように錯覚し、驚きや興奮のために壊れやすいものでけがをするおそれがあります。

5歳以下の子供による3D映像の視聴は、視力の発達に悪影響を及ぼす可能性があるため、親/保護者の方はお子様に3D映像を見せないでください。

光過敏性発作に関する警告
一部のユーザーは、ビデオ ゲームまたは映画で点滅する光や特定のパターンを視聴したときに、発作その他の異常な反応を起こす可能性があります。
家族に、てんかんの病歴がある方または何らかの発作経験者がおられる場合は、3D映像を視聴する前に医師に相談してください。
3D映像の視聴中に下記の症状のいずれかが発生した場合は、直ちに視聴を止め、休憩をとってください。

- 目眩、かすみ目、顔面のチック、不随意運動、痙攣、錯乱、見当識障害といった症状が続く場合は、医師に相談してください。

光過敏性発作を防ぐには、次の注意に従ってください。
- 1時間ごとに5～15分の休憩をとってください。
- 右目と左目の視力が大幅に異なる場合は、まず視力の違いを矯正してください。
- 画面全体が目の高さで見えるようにしてください。
- 頭痛、疲労、めまいを感じた場合は、すぐに鑑賞をやめて休憩をとってください。
- 疲れているときや病気のときは3D映像を見ないでください。

3D映像をご覧になる際の注意

注意

子供による3D映像の視聴は、親/保護者の監視下で行うようにしてください。子供は3D視聴経験に慣れない可能性があり、また潜在的なリスクに対応する知識が欠けているためです。

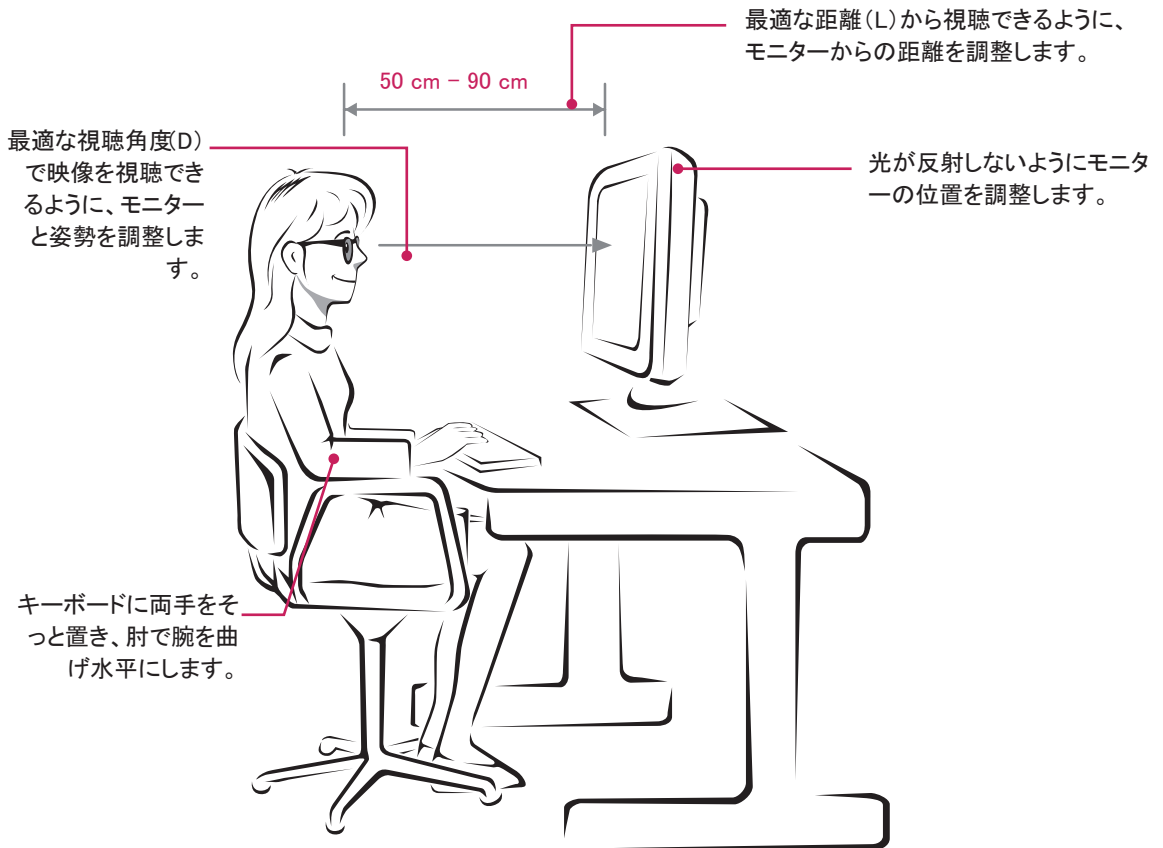
3Dメガネを使用する場合

注意

- 3D メガネを一般のメガネ、サングラス、またはゴーグルとして使用しないでください。 視力を低下させるおそれがあります。
- 3D メガネを極めて高温または低温の場所に置かないでください。 メガネが変形し、壊れることがあります。 3D メガネが壊れた場合は、使用しないでください。視力の低下や目眩の原因になる場合があります。
- 3D メガネのレンズ（偏光フィルム）は簡単に傷が付きます。 汚れを拭き取る際は、柔らかいきれいな布を使用してください。 化学洗浄製品を 3D メガネに使用しないでください。

日本語

正しい姿勢

モニターを使用する際の正しい姿勢

モード	最適な視聴距離(L)	最適な視聴角度(D)
3D 映像の視聴時	50 cm – 90 cm	12°

3D 映像をご覧になる際の注意

- 付属の 3D メガネをかけてください。
- 姿勢に気を付けてください。
- 3D 映像の視聴中は最適な視聴距離と角度を維持してください
  (3D 映像を見る距離が近すぎると、視力が低下したり、目眩を感じたりするおそれがあります)。

製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。
取扱説明書（CD）は後で参照できるようにわかりやすい場所に保管してください。
製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。保守が必要になった場合に備えて下記にご記入ください。

モデル ______________________________

シリアル ______________________________

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S.Environmental Protection Agency(EPA).

As an ENERGY STAR Partner LGE U. S. A.,Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.